

# 令和2年度 香蘭ファッションデザイン専門学校 「学校関係者評価」 評価表

※評価点:A-特に優れている、B-優れている、C-普通、D-優れていない、E-要改善



項目	評価点	評価内容	改善点
1.教育理念	A	「人間教育と技術教育」という理念を柱とし、特に人間教育の部分は他の専門学校との差別化につながっていると思う。技術だけではカバーできない要素が今後ますます価値を持つと思われる。技術だけでなく、人としてあるべき姿、社会に貢献できる人を育てる教育理念は素晴らしいと思う。また、学生の学校満足度調査を基に常に考え、行動されているところが優れている、と思う。入学の決め手は外部者への学生の対応の良さである。技術をつけるだけでなく、学生個人の才能の引き出しに取組んでいると思う。	教員の方々がオーバーワークにならないよう、カリキュラムの構築に取り組んで頂きたい。自己点検にもあるように、理念実現の為の現場負荷が気がかり。学生さんと同様、教員の方々へのフォローも重要。
2.基本項目	B	コロナ禍でファッション業界が冷え込んでいる中、学生の確保には苦勞されていると思うが、最低限度の入学者を確保されていると思う。学生を確保する為のプロモーション活動を積極的に行っている点が評価できる。Instagram・HPのこまめな更新は学生生活が分かりやすく引き込むツールになっていると思う。また、対面のコミュニケーションを重視している点もすばらしい、と日々感じている。西日本一の技術を保有している。学生の作業を拝見してもムダを省いた動きで指導の賜物と思う。 コロナが終息した際には、露出を増やしていけるといいと思う。	変化対応を行いながらも、あくまで強みである人間教育と技術教育の特色をより強化していくことが必要。少ない人数で運営されている為、業務量も多く、個人に集中しているケースがみられる。兼務職についている教員については過勞が心配である。県外からの入学生の生活基盤は問題点などがあるのでしょうか？
3.財務情報	A	適切に運営されていると思う。ペーパーレス、LED化に取り組むなど、無駄の削減、節電に着手されている。改善意識を高めていく事ができている。 入学希望者減のトレンドの中、その状況に応じた運営・努力が行われている。	少子化で全ての大学・専門学校の学生の確保が難しくなっている。学生数の増加に繋がる取り組みを続けて頂きたい。より一層の無駄・無理の削減への取り組みを継続。
4.教育活動など	A	コロナ禍でも、あらゆる経験を学生に受けさせ、学び＝仕事と結び付けている。全校及び各学科ともに人材育成のテーマを明確化し、PDCAでの進捗チェックを行っている。学生に寄り添い、就職への支援も積極的な点も素晴らしい。能力差がある中で、伸ばせるところは伸ばす教育、複数人での採点など先生方にとっては大変だと思いますが、素晴らしい。企業連携や、森永氏等のゲスト講義、学外コンテンツは学生の興味や意欲につながると思うので、継続して頂きたい。就職に関して、個別に多大なご指導を頂き感謝している。	欠席続きの学生に対し教員がつききりになり、不公平感を感じることがある。教員の苦勞も理解できるため何か工夫できないか、と思う。就職できる企業を広げる工夫として卒業生社会的評価があると思う。卒業生の就職先に聞き取りを行うことで現在の改善点などが見えてくるのでは、と思われる。欠席・遅刻への対処の延長として取り組みを検討しては、企業からの信頼を得て、就職者増、第一希望への就職⇒学校のブランディング化に繋がればよいと考える。
5.教員の質の保証	A	先生達のスキルの高さは、高校生に向けての授業の中でも感じられる。常に新しいニーズを学び、学生へと伝え導いている。教員の質保証に関しては、研修も含めてしっかりとしている。教員の評価は定量的でない部分も多い為、この測れないものを評価するときに、評価者のバイアスがかかってしまうので、難しい問題である。 一部、その時々で意見が変わり、高圧的な教員がいるという話を聞かすが、多くの先生方が「そこまでしてくれるの」と学生が心配する位に親身に関わって頂いている。	時代の変化の中で本来であれば新たなカリキュラムに対応できる教員の入れ替え、補充が理想だが、現実的には厳しい中で、どう現場の教職員のスキルアップを行うかが課題。 教員の多忙さを学生も心配している。オーバーワークにならないよう、気を付けて頂きたい。
6.学生支援など	A	学生支援・就職支援などしっかりと行っているように感じる。学生とすれちがったときには挨拶をしてくれるのは社会に入っても基本で素晴らしいと感じる。帰属意識を持たせることは私も苦勞しているのでコツがあったら知りたい。きめ細やかな様々な対策は素晴らしい。それでも遅刻・不登校、退学者が出るのは仕方ないと切り捨てられない方針には敬意を評する。近年安易に進路を決める学生が増えている中、休退学者を出さない努力は途方もない努力である。専門職を育てる場としては適性を見極め、ある程度で選択肢を与える事も有益になると思う。	退学者ゼロという目標が努力されている教員の重荷にならないければよいと思う。就職活動の時期など保護者に行って欲しいサポートなどを案内してくれると嬉しい。理解ある保護者が増えることを願う。学内で学生を支援するのは限界があると思う。卒業生との接点を増やしたり、業界からの支援だったり、輪を広げられたら良いのでは、と思う。
7.教育環境・ 8.防災安全管理	A	教育環境の整備や教職員の行動など、意識が高いと思う。教育環境・朝礼から就業時間まで細部に渡っての教職員の共通認識の徹底は素晴らしい。財務・運営との連動も含め、コスト削減の意識がしっかりなされている。シンなども新しくなり、検定の時でも助かっている。照明がLEDになり、コロナ対策での換気も良くてきている。時間を厳守しているのは評価できるが、自己評価表を見る限りかっちりしすぎている印象。  防災への対策・対応は現代において大切なことである。	個別指導が不可欠であり、教員が疲弊していると思う。教員の休息も確保して頂きたい。ずっと気を張っていないといけない感じがするため、力を抜く場所や時間があってもいいように思う。例えば、昼休み以外に一人1日15分でもボーっとしていい時間が合っても良いのでは。紙媒体の廃棄はリサイクルされると思うが、減らそうという意識があるのは大事と思う。ひいては財務事情にも響いてくる。 朝礼・終礼の削減・廃止を検討していいと思う。大学では掲示板での伝達で問題なかった。

|